

山行報告書

報告書作成

2005年11月2日

山名 [山域]	三瓶山、蒜山	目的と方法	紅葉
登山期間	2005年10月29日～30日	山行形態	各山日帰り(2)・登山口テント泊(2)
参加人数	8名		

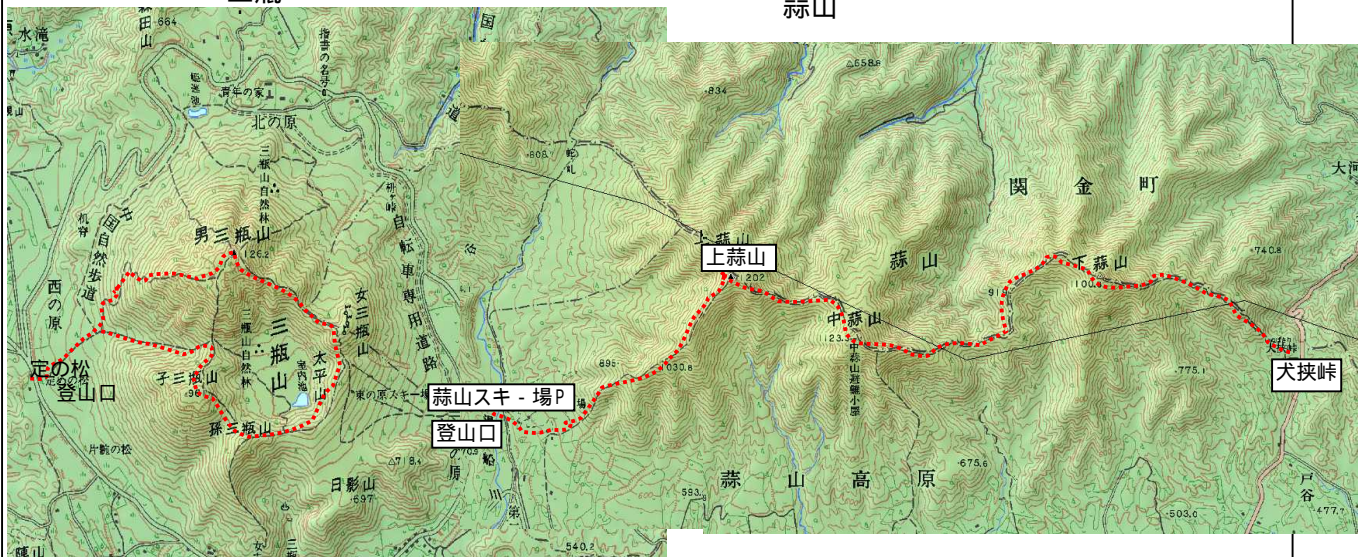
行動記録

10/28(金) 岩津市民センタ - (20:05)==三次IC(1:30)==男三瓶山TS (2:00)
 10/29(土) TS (6:20)==定の松P登山口(7:50,8:00)--男三瓶山(9:35,9:45)--女三瓶山(10:30,11:20)--孫三瓶山(12:00,12:10)--子三瓶山(12:35,12:45)--定の松P(13:40:13:50)==温泉(14:50)==出雲大社(15:50,16:30)==買出し、米子ス - パ - サティ==蒜山TS (8:30)
 10/30(日) 上蒜山 TS (6:20)==蒜山スキ - 場P登山口(6:50)--槍ヶ峰(8:10,8:20)--上蒜山(8:45,8:55)--中蒜山(9:50,10:40)--下蒜山(12:15,12:30)--犬挟峠(13:30)==上蒜山スキ - 場(14:30)==温泉(15:20)==蒜山IC(15:40)==豊田東IC(22:20)==岩津市民センタ - (22:30)

概念図

三瓶

蒜山



日誌

10/28 小雨 中国自動車道に入るところより小雨になり途中降ったりやんだり明日の天気心配になる。
 10/29 小雨、曇りのち晴れ 定の松登山口Pはバス停もありトイレもある。歩き出すとしばらくして三瓶山の案内板がある。分岐を左に行くと尾根に取り付きジグザグした急坂を登る。だんだん傾斜もゆるまり草原のようになる。頂上は展望の良い所であるが、生憎すっかりした大山は見えなかった。きれいな避難小屋もある。犬戻しの剣と言われる岩場を下ると明るい笹原にでる。ユ - トピアと書いてあった。霧囲気のいい所である。小ピ - クを越えマイクrouエ - プの建ち並ぶ女三瓶山につく。ここで - ダ - の用意して頂いたチャンポン麵を作りご馳走になった。女三瓶山を下る頃には天気も回復に向かい紅葉の男三瓶山、室ノ内(火口)池が見渡される。太平山に登り、孫三瓶山にのぼる黄色に色づいた柏の林の尾根歩きは至福の時である。孫三瓶山から子三瓶山は200mちかくの登り返しになる。頂上から岩肌を覗かせた紅葉の男三瓶山を眺め下山する。歩き易い道で時間の短縮が出来た。休憩小屋を過ぎると分岐になる。ススキの穂が白くゆれてきれいだった。フデリンドウ、花ラッキョウなど所々でみられた。下山後、近くにある温泉(かんぼの湯)に寄り出雲大社に向かう。縁結びの神様にそれぞれ?御縁がある様お参りした。大社より蒜山TS に向かう途中、米子のス - パ - サティで買出し、夜は海鮮鍋で賑わった。 10/30 晴れ 蒜山テントST より下山する下蒜山犬挟峠へ1台デポし上蒜山スキ - 場Pへ。登山口は駐車場の少し手前に標識がある。牧場の方に向かい有刺鉄線に囲まれた登山道を行くと案内板があり杉木立に入る。しばらく急な階段で三合目あたりから展望がひらけてくる。足元にはリュウノギク可愛くさいていた。尾根道になり笹原の中を登山道がうねうねと続いてきれいだ。八合目の槍ヶ峰は別にとがった所ではなく展望がよい。西には灰色に見える大山、東には中蒜山、その肩越しに下蒜山がみえる。分岐にザックをデポし山頂を往復する。滑り易い岩まじりの急坂を下ると、ここも笹原(ユ - トピア)である。中蒜山頂上では楽しみのきつねうどんを頂きながら大展望を楽しんだ。下蒜山に向かう展望は私は今回山行の一番だと思った... [こんなきれいな風景見たことない]... 下蒜山からの下りも急で滑り易い所が多いが綺麗な笹原がず - と続いている。犬挟峠にデポした車で登山口まで行き途中(やっか温泉)に寄り、渋滞で1時間程遅くなったが無事帰路に着く事が出来ました。長い運転をして頂き感謝いたします。